

【各国議会】日本関係情報

【アメリカ】米国議会図書館議会調査局(CRS)レポート「グアム：米国国防展開(Guam: U.S. Defense Deployments)」

2010年1月7日刊行。2000年以来、米軍は抑止能力を向上させるため、グアムに前方展開兵力を配備してきた。また、日本及び韓国からの兵力撤退計画に伴い、グアムの役割は増大している。レポートでは、グアムに関する主要な政策の推移について論じている。

「防衛能力向上におけるグアムの戦略的重要性」「米国本土からの兵力再編及び展開」「日本および韓国からの米軍兵力再編」「議会にとっての懸案事項及び論点（兵力強化の根拠、懸案事項、同盟、中国、主要な立法情報）」から構成されている。

<<http://www.fas.org/sgp/crs/row/RS22570.pdf>>

【アメリカ】米国議会図書館議会調査局(CRS)レポート「日米関係：議会にとっての論点(Japan-U.S. Relations: Issues for Congress)」

2010年2月24日刊行。日米関係に関する争点の総論的レポート。「最近の動向（民主党新政権が直面する問題、普天間基地及びその他の同盟問題をめぐる2国間の緊張）」「米国議会が日米関係において果たす役割」「主要な外交及び安全保障問題（北朝鮮及び6か国協議、アフガニスタン・パキスタン問題、国際気候交渉、地域及び歴史問題、国際的親権紛争）」「軍事問題（米軍再編合意及び普天間移設をめぐる論争、責任分担問題及び地位協定、F-22をめぐる議論、拡大抑止、核をめぐる密約問題、憲法第9条の制約）」「経済問題（2国間経済関係の概観、2国間貿易問題）」「日本の政治（背景、2010年2月の政治状況、民主党の政策、日本の人口問題）」「第111議会（2009-10年）の日米関係についての主要な法案の紹介」から構成されている。第111議会における日本への関心は、ほとんどがこの地域における米軍再編計画の状況に関するものとなっているとの指摘がなされている。

<<http://fpc.state.gov/documents/organization/139350.pdf>>

【アメリカ】牛肉の輸入再開を求める決議案の提出

2010年3月11日、マイク・ジョアンズ(Mike Johanns)上院議員(共和党、ネブラスカ州)ほか28名によって標記決議案(S.Res.452)が提出され、財務委員会に付託された。その名称は、「合衆国の牛肉及び牛肉製品の輸出に関する日本市場へのアクセス増大を支持する」決議案。2003年に最も多く(14億ドル)米国の牛肉を輸入していた日本が、同年12月のワシントン州におけるBSEに感染したカナダ産牛の発見を機に輸入規制を行った。2006年に米農務省がBSEは米国には存在していないとの研究結果を発表し、国際獣疫事務局(OIE)が米国を「BSEの危険が管理されている国」と位置付けたにもかかわらず、日本の輸入は低調なままである。そのため決議案では、①市場アクセスの恣意的な規制は、合衆国あるいは日本のいずれの利益にもならない、②合衆国及び日本との貿易は相互に尊重をもって行われ、健全な科学に基づくべきである、③2003年12月に合衆国の牛肉の輸入を禁止して以来、日本は合衆国の牛肉業者を公正に扱っていない、④日本及び合衆国は健全な科学に基づいたガイドラインに従うべきである、⑤日本は、合衆国の骨付き及び骨なし牛肉の輸出業者のために、生後20か月齢以下の牛由来の牛肉を対象とした既存の標準

を超えて、速やかに市場アクセスを拡大すべきである、⑥大統領は、合衆国の牛肉及び牛肉製品の輸出業者の日本市場へのアクセスが拡大するように要求すべきである、と述べている。

同日、上院本会議では、ジョアンズ議員によって提出理由が説明された。日本の大使にも面会してこの件を議論したことなどを紹介した。

3月18日には下院でも、ジェリー・モラン(Jerry Moran)下院議員(共和党、カンザス州)他1名が同名同文の決議案(H.Res.1196)を提出し、下院歳入委員会に付託された。

S.Res.452<http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getdoc.cgi?dbname=111_cong_bills&docid=f:sr452is.txt.pdf>

上院議事録(3月11日)<http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getpage.cgi?dbname=2010_record&page=S1462&position=all>より

H.Res.1196<http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getdoc.cgi?dbname=111_cong_bills&docid=f:hr1196ih.txt.pdf>

【中国】中国海軍の日本近海での訓練について

姜瑜外交部報道官は2010年4月13日の記者会見において、日本側が「中国海軍のヘリコプターがその海域付近で飛行しているのは危険な行為だ。」と表明していることに関して、中国側の考えを問われ、次のように発言した。「今報道を見たばかりで具体的な状況を把握していないが、報道ではその海域は公海であると指摘していた。」

<<http://www.mfa.gov.cn/chn/gxh/tyb/fyrbt/t679251.htm>>

【中国】毒入り餃子事件解決の通知

2010年3月30日の記者会見において、前の週の金曜日(3月26日)夜11時過ぎに中国外交部が毒入り餃子事件の解決の状況を日本大使館に知らせたことについて、「中国側はなぜこんなにおそい時間を選んで知らせたのか、これは計画的なのか偶然なのか。」との質問に対し、外交部秦剛報道官は次のように答えた。「この事件が解決していなかった時には、事件はどうして遅々として解決しないのかと言っていた。事件が解決し、すぐに日本側に連絡したら、今度はどうしてこんなにおそい時間に知らせて来るのかと言う。この事件の解決を望んでいるのかいないのか。」

<<http://japan.people.com.cn/35469/6935524.html>>